

植物
防疫
講座

虫害編-7 野菜主要害虫の発生動向と防除

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 **たけ だ みつ よし**
野菜花き研究部門 **武 田 光 能**

はじめに

野菜類の種類は非常に多く、キノコ類を除いて国内で利用される野菜類には53科、261品目があり、土壌病害対策で台木のみで使用されるヒラナスとズメナスビを除いて259品目が食用に供されている(園芸学会, 2005)。

これらの野菜類のうち、全国的に流通し、特に消費量が多く重要な14品目が指定野菜(表-1)であり、さらに、指定野菜に準じる野菜として27品目の作付面積、収穫量や出荷量が作物統計調査の野菜調査として実施されている。また、生産量の区分として、30万トン超をメジャー作物(指定野菜のピーマン、サトイモを除いて、カンショ、スイカを含めた14品目)とし、農薬登録に必要な作物残留試験例数が6例以上とされている。さらに、生産量が30万トン以下~3万トン超となる準メジャー作物(表-1の下線の品目に、ノザワナ、ミニトマト、コンニャクを含めた22品目)があり、残留試験例数は3例以上とされている。一方、生産量が3万トン以下の農作物はマイナー作物となり、作物残留試験例数は2例

以上となる。2003年の農薬取締法の改正で、食用作物などは登録された適用作物以外の農作物に農薬を使用しないことが義務化されたことから、使用可能な農薬が限られているマイナー作物では作物のグループ化や経過措置が適用されている。

これら非常に多くの野菜類には、さらに作型(農業・食品産業技術総合研究機構, 2010)と呼ばれる様々な栽培方法があり、多様な害虫類が発生する。

I 野菜害虫の食性

イネやチャの重要害虫は、それぞれ10種程度であり、それらの発生生態と防除対策を知ることが重要となる。多様な野菜類にそれぞれ10種の重要害虫を想定すれば、指定野菜だけで140種におよぶ害虫の発生生態や防除対策が必要となる。しかし、野菜類を加害する害虫の多くは広食性であり、同じ害虫種が異なる科に属する多くの野菜類を加害している。

例えばヒガンバナ科ネギ属の野菜類を加害する害虫には、ネギアザミウマのように「ネギ」が冠されることが多い。ネギアザミウマは広食性の害虫であり、ネギ属以

表-1 生産統計の対象となる野菜品目と指定野菜、指定野菜に準じる野菜(太字はメジャー作物、下線は準メジャー作物)

	根菜類	茎葉菜類	果菜類	果実的野菜	その他野菜
指定野菜 (14品目)	ダイコン ニンジン バレイショ <u>サトイモ</u>	ハクサイ キャベツ ホウレンソウ レタス <u>ネギ</u> タマネギ	キュウリ ナス トマト <u>ピーマン</u>		
指定野菜に 準じる野菜 (27品目)	<u>カブ</u> <u>ゴボウ</u> <u>レンコン</u> <u>ヤマノイモ</u>	<u>コマツナ</u> <u>チンゲンサイ</u> フキ <u>ミツバ</u> <u>シュンギク</u> ミズナ <u>セルリ</u> アスパラガス <u>カリフラワー</u> <u>ブロッコリー</u> <u>ニラ</u> ニンニク	<u>カボチャ</u> <u>スイートコーン</u> <u>サヤインゲン</u> サヤエンドウ グリーンピース ソラマメ <u>エダマメ</u>	<u>イチゴ</u> <u>メロン</u> <u>スイカ</u>	<u>ショウガ</u>

注：表に記載のないカンショはメジャー作物。ノザワナ、ミニトマトとコンニャクは準メジャー作物。

Occurrence, Trends and Control of Vegetable Major Insect Pests.
By Mitsuyoshi TAKEDA

(キーワード：野菜害虫, 発生予察, 発生消長, 地域別主要害虫, 防除対策)